



発行人
甲東コミュニティ
委員会
53-4591
編集
「ふるさと甲東」
編集委員会

街かどのスケッチ



菫
草

一里山町
小畑 良三

終の住処

40年以上前に、隣の市から家族4人でこの地に移り住むことになりました。夫が独身時代に住んだこの町を気に入ったのがきっかけでした。

自宅の周りは畑ばかり。なんと、のどかな所なのかと思ったのが、私の第一印象でした。年月がたち、今では道路が通り、おしゃれな住宅が立ち並び、町並みも変わりましたが、まだまだ自然がたくさん残っています。その昔は、田植えの時期には家の中に居ても、「蛙の大合唱」が喧しくらいに聞こえたものでした。今でも、朝には裏庭の木に小鳥がやってきて、チュンチュンとあいさつを交わしています。

子どもたちは学生時代を終えておのおの巣立っていき、夫婦2人の暮らしになり、20数年が過ぎました。

春には一里山の桜並木を、夏には新鮮な野菜などが並ぶ朝市へ、秋は武庫川沿いの遊歩道へと散歩を兼ねて出かけます。本好きの2人にとって、近くに図書館があるのはありがたく、とてもお世話になっています。

たくさんの友人、知人ともご縁を頂き、地域のサークルでは、微力ながらボランティアに関わらせてもらっています。

新型コロナウイルス感染症が昨年、5類に移行し、やっと以前の日常に戻ってきました。今年こそはと、サークルのみんなとお花見に出かける計画を相談中です。桜の開花を心待ちにしています。

毎朝、裏庭から見上げる甲山は、ぶつくりと丸くかわいくて、ずっと変わらず、見守られている安心感があります。この景色が、いつまでも変わることはないようにと、心から願っています。

段上町 F

ともに生きる
まちづくり

おいしいお菓子を
作ってみよう!!

「お菓子作り」の講習会が2月26日の午後、甲東公民館の実習室で開催されました。甲東地区社会福祉協議会・福祉部会の主催で、講師は「門戸やすらぎ会」の藤本久美子さん。日頃は、昼食会などでのデザート作りなどで慣れたものですが、少しでも新しいものをと意欲的に集まった16人の参加者が、エプロンに三角巾姿で集合しました。



皆さんエプロン姿でやる気満々

メニューは、レモンケーキとイチゴムース。先生の指示

を聞いて、まずはバターを溶かして器で攪拌することから。順番に材料を加えて、40分ほどでケーキの種は次々とオーブンに。



みんなのチームワークで手際良く。おいしさも倍増!

ケーキが焼き上がる間に、イチゴムース作り。生クリームを泡立てて、簡単だけど加減が難しい。ムースを容器に分けたら、焼き上がったケーキにアイシングで飾り付け。休む間もなく働いた1時間半、2種類のお菓子が出来上がり、最後に紅茶を入れて試食タイム。おいしくてみんな大満足です。



出来上がり! 家族へお土産も

「たまには、こんな会もいいね」と、参加者にも好評でした。

知って 気づいて
一緒に考えよう!
不登校について

樋ノ口小学校PTAとコミユニティ・スクールによるコラボ企画「不登校ってな〜に?? 青木さんに聞いてみよう」が2月21日に開催され、「トコトコくらぶ」代表の青木育子さんに話を聞きました。

不登校とは、何らかの要因や背景によって、学校に行かない、行かない状況・状態にあることですが、決して問題行動ではなく、取り巻く環境によって誰にでも起こりうるものと考えられています。

【令和4年度の不登校生徒数】

全国	29万9048人
兵庫県	1万5577人
西宮市	小学校 443人
	中学校 795人
R4年度	1238人

〈西宮市ホームページ参照〉

話の中では、不登校の四つのケースについて例が挙げられ、保護者や周りの大人が、子

どもに対して「どのように声をかけたらいいのか」「どこへ相談したらいいのか」など、居場所サポーターボランティアの体験談を交えた話がありました。また、養護教諭からは、学校生活や保健室での対応についても話を聞くことができました。子どもたちとの関わり方を一緒に考える有意義な時間となりました。



トコトコくらぶ 代表の青木さん

青木さん

は「子どもにとって安心・安全な場所とは、ありのままの自分でいいと感じられる場所。子どもの気持ちを最優先に。不登校支援はなかなか進みづらく、情報がないことが保護者にとってもつらい。子どもによって関わり方も違うので、1人で抱え込まず、周りの人に相談しましょう」と話していました。

最後は、参加者同士で交流を深めたり、ボランティアの人から話を聞いたり、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しい時間を過ごしました。

参加した人たちは「お母さんが笑顔になると、子どももうれしいという言葉が印象的だった」「子どもへの関わり方のヒントをもらえてありがたい」「相談できる場所があることを知っているだけで安心できる」と話していました。

参加者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました



終始和やかに進んだ会では、いろいろな気づきがありました。不登校は問題行動ではないということや、皆さんの人に知ってもらうことや、相談するのをためらったり、悩んだりしている人が、気楽に話し合うことのできる場所づくりなどを、これからも継続していくことが大切だと感じました。

絵本で子どもたちにつたえたいこと



はせがわよしふみ
長谷川義史さん 講演会



掲載した長谷川義史さんの作品
「へいかわってすてきな本」詩／安里有生 絵／長谷川義史
出版：長谷川義史出版社／ブロンズ新社

樋ノ口地区青少年愛護協議会による「樋ノ口地区健全育成大会」が2月3日、コープこうべ第2地区本部との共催で、樋ノ口小学校体育館で開催されました。



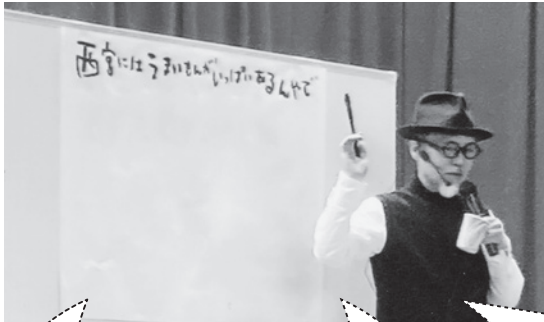
絵本作家の
長谷川義史さん

【長谷川義史さんプロフィール】

- ◆昭和36(1961)年 大阪府藤井寺市生まれ
- ◆グラフィックデザイナー、イラストレーターを経て、平成12(2000)年『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』(BL出版)で絵本デビュー
- ◆ユーモラスでおおらかな絵本が大人から子どもまで大人気。社会的なテーマにも意欲的に取り組んでいる
- ◆平成15(2003)年『おたままんのおかいまん』(解放出版社)で講談社出版文化賞絵本賞を受賞
- ◆平成17(2005)年『いろははほへ』(BL出版)で日本絵本賞受賞
- ◆平成20(2008)年『ぼくがラーメンを食べてるとき』(教育画劇)で日本絵本賞、小学館児童出版文化賞を受賞



パフォーマンスに
会場はヒートアップ☆



「絵本で子どもたちにつたえたいこと」をテーマに、長谷川さんはユーモアあふれるトーク、絵本の読み聞かせやウクレレの演奏を交えた絵本ライブパフォーマンスなどを披露しました。

落語を基に、目の前で次々と絵を描き上げていくパフォーマンスに、子どもたちも大人も目がくぎ付けになり、あちらこちらから楽しそうな笑い声が聞こえてきました。

代表作『大阪うまいものうた』の読み聞かせの後、「西宮にはうまいもんがいっぱいあるんやで」と題して、長谷川さんが、参加者から聞いた「西宮といえば」のワードをもとに、即興で歌を作り、手遊びを取り入れながら、みんなで合唱しました。一体感の生まれた会場は大盛況でした。



「大阪うまいものうた」で読み聞かせ



拍手の嵐とたくさんの笑顔！

編集員のおすすめ絵本

長谷川さんの自伝的絵本の一つ『**おかあちゃんがつくったる**』
作：長谷川義史 出版社：講談社



【あらすじ】

おとうちゃんが亡くなって、おかあちゃんはおとうちゃんのみも1人で頑張ってくれます。ぼくの欲しいものは何でもミシンでつくってくれる。けれども、それがへんだいぶへん…。

ある日、ぼくはおかあちゃんに「おとうちゃん、つくってえな」と言ってしまいます。さすがにそれは無理だろうと思うぼくの「ちちおやさんかん」に現れたのは…。

【編集員 K. のおすすめポイント】

いつも明るくパワフルなおかあちゃん。想像の上をいくおかあちゃんの行動に思わず笑ってしまいます。しんどいとき、疲れたとき、この絵本を読むと「もう少し頑張れそう！」という気持ちになります。

長谷川さんは、たくさんの絵本を紹介しました。家族や友人との日々を描いた作品には、他人を思いやる気持ちが込められていること、戦争を題材にした作品には、平和の願いが込められていることを知ることができました。

これらのメッセージを受け止めて、絵本を通じて人と人とのつながりを大切に、そして、平和な世の中だからこそできる好きなことを見つけて、向き合う日々につなげていってほしい！という長谷川さんの思いを強く感じる貴重な時間となりました。

編集員メモ

「樋ノ口地区健全育成大会」は、コロナ禍の期間を除き、樋ノ口地区青少年愛護協議会主催で、毎年開催されています。

「青少年の健全育成のための自主的な地域ぐるみの活動を振興すること」を目的とし、西宮市青少年愛護協議会を母体として、樋ノ口地区青少年愛護協議会は、日々活動に取り組んでいます。

【青愛協のあゆみ】

昭和41年／小学校単位に地区組織づくりが始められ、市内26地区(1966年)に青少年愛護協議会が組織された

昭和44年／各地区組織の連合組織体として西宮市青少年愛護協議会が結成され、「第1回西宮市青少年健全育成研究大会」が開催された

昭和53年／樋ノ口地区青少年愛護協議会が結成(1978年)

昭和55年／「青少年健全育成地区大会」が、国際児童年を契機として、市内21地区より開始。現在に至る

昭和62年／第19回から、市・市教育委員会などと共催して「西宮市青少年健全育成のつどい」と名称変更し開催。現在に至る

平成2年／「ひょうごっつきょうだいづくり補助事業」を樋ノ口地区で開始

平成14年／「ひょうごっつきょうだいづくり補助事業」が廃止となり「地域で育むにのみやキッズのびのび事業」として新設され樋ノ口地区で開始。現在に至る

令和6年／2月「樋ノ口地区健全育成大会」が開催

◆参考文献：令和4年度 青少年愛護のあゆみ《活動報告と参考資料》

出版：長谷川義史出版社／BL出版
出版：大阪うまいものうた 作：長谷川義史 出版社：佼成出版社

がつづる地域のつながり
ティーづくりに向けて～

紙になりました



甲東コミュニティ委員会主催の「令和5年度地域懇談会」を2月15日にアプリ甲東で開催しました。市・市民協働推進課（現地域コミュニティ推進課）の中尾課長を招いて、前田甲東支所長を含む甲東コミュニティ委員会と『宮っ子』編集員の約30人が参加しました。甲東コミュニティ委員会は令和6年度で、発足し、45周年を迎えます。

西宮コミュニティ協会川東理事長が『宮っ子』の表紙を飾った写真をたどり、西宮コミュニティ協会、甲東コミュニティ委員会がつないできたコミュニティづくりの変遷について話をしました。



グループディスカッション後の発表

つて、意見交換しました

りを進めていく上で、どんな課題がありますか
増加で、PTA活動が縮小されつつあり、PTA活動を
ながることや、編集員の確保も困難になってきている
に見えないものだが、その大切さや価値を知ってほしい
要となっている

スマートフォンにより、人と対面でかわること
、コミュニティの中で人と対面で関わる経験は子ど
だと思う

加入の世帯を対象に配布しているが、市役所、支所、
いる

子』に関わった感想

- 最近近所付き合いが少なくなってきた、
情報を得ることが難しい
- 『宮っ子』は市が発行しているのではなく、
コミュニティ協会が発行していると思って
素晴らしいと思った

門戸厄神 東光寺

厄除例祭 毎月19日

であい市門戸厄神 5月5日(日)・7月7日(日)・9月1日(日)開催予定

〒662-0828 西宮市門戸西町2-26 電話 0798-51-9090

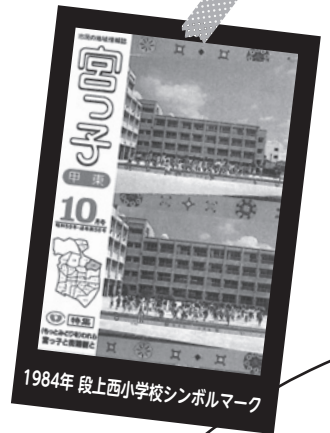
●年中行事●

新年祈禱会	1月1日～7日
厄除大祭	1月18日・19日
夏季厄除大祭	8月19日(厄神夏祭り)
秋季厄除大祭	10月19日
七五三詣	11月15日(11月中受付)
人形供養祭	11月19日(3月より受付)
納厄神	12月19日
星祭開白	冬至(星祭り)



地域情報誌『宮っ子』が
~これからのコミュニ

甲東のまちが表



『宮っ子』のあゆみ



『宮っ子』は西宮コミュニティ協会設立と同年の昭和54(1979)年10月に創刊。「コミュニティ西宮」という名称でしたが、“多くの人に親しまれ、愛読されるように”との思いから、名称を市民公募し、昭和55年1・2月号から『宮っ子』の名前になりました。

当初は年11回発行し、冊子のサイズは今より小さいB5判でしたが、平成18(2006)年5・6月号からは年6回の発行で、A4サイズとなりました。

企画、編集、配布を市民ボランティアが行う手作りの情報誌で、全市共通ページ(全市版)の中に各地域コミュニティが作成するページ(地域版)をとじ込んでいます。

阪神・淡路大震災直後の3・4月号は休刊となりましたが、4月からは編集活動を再開。避難場所にも取材に行き、市内の被害状況を掲載した5・6月号(全市版のみ)を発行しました。この時に撮影した写真は、今も震災の貴重な資料となっています。

『宮っ子』は、編集作業未経験の素人が、地域のPTA、青少年愛護協議会、社会福祉協議会、自治会、地域住民などから情報を得て取材し、話し合い、工夫して、記事にしてきました。また、さまざまな企画を打ち出し、各地域の編集員が地域を超えて取材、編集してきました。

『宮っ子』の歴史は、人と人のつながりの中から、身近な情報を住民目線で伝えた地域情報誌の記録です。

こだわりの表紙写真

当初、表紙写真はプロのカメラマンに撮影を依頼していましたが、現在は「人の持っている優しさ・柔らかさ・生命のパワー」をコンセプトに、編集員が試行錯誤しながら各地域の特徴が伝わるような写真を載せています。



話し合っ

- ※コミュニティづく
 - 働いている保護者の通して地域の人とつ
 - コミュニティは目
 - 個人情報の保護が重
 - インターネットやス
 - 減っている現代は
 - もたちにとって大切
 - 『宮っ子』は自治会
 - 公民館でも配布して

- ※編集員として『宮っ
 - 取材を通して地域
 - のことが知れた
 - やりがいはあるが
 - 働きながらの活動
 - は大変だった



小学生・中学生

見学自由・体験無料

甲東小学校北門すぐ

受験対策・先取り学習・宿題補講・自習 講師は全員現役関学生！！

◆放課後等デイサービス◆ 放課後 スクール いろいろ

～学習習慣が自然に身につく！！最先端リード法採用～

発達障害・多動・学習障害のお子様、塾や習い事との併用も大歓迎！

【逸材屋・本店】 ☎ 0120-214-620 mstage@mstage-itsu.jp

〒662-8023
西宮市神呪町5-26

スクールカウンセラーに学ぶ 学童期の心の発達

甲東小学校では、子どもの心身の健康について保護者と共に学ぶ会(学校保健委員会)が例年開催されています。昨年度は4年ぶりに、令和5年度スクールカウンセラー山下貴世先生による講演会を1月26日に行いました。寒い日でしたが、飛び入りの保護者を含め、約30人が参加しました。



真剣に聞き入る保護者の皆さん

講演のテーマ「学童期の心の発達」についてプロジェクトで説明があり、家と学校で育まれる子どもの発達を学びました。そして、発達により生じる家や学校での困り事を知りました。プロジェクトに表示される内容以外にも先生の話には具体的な事例が

あり、保護者はうなずいたり、メモを取ったりして熱心に聞いていました。



子どもについての悩みを共有

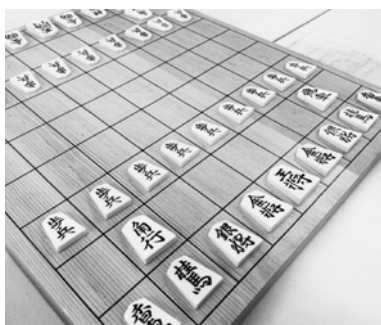
講演会の後半には約15分間、3〜4人の班に分かれ、子どもについて困っていることを話し合いました。終了の声かけをしづらいほどみんな話に共感し、場が盛り上がり上がっていました。

最後に質問をする時間があり、保護者の悩みをみんなで聞き、会が終わっても話を続ける班があるほど、身近な内容でした。子どものことで悩んでいる保護者にとっては、小学校に話し合う場があり、スクールカウンセラーに接する機会があることは安心につながることでしょう。

スポーツ...

将棋の奥深さを 毎週楽しんでいきます

「段上将棋友の会」は、毎週水曜日(第5水曜日を除く)の午後に段上公民館で活動しています。午後0時半を過ぎると会員が徐々に集まり、対局が始まります。部屋には「パチ、パチ」と駒を動かす小気味よい音が響きます。強い弱いに関係なく「将棋が好き!」という会員同士、会話も楽しみなが対局しています。



駒を並べたら、対局スタート

代表の丸山幸治さんは「将棋は何度対局しても同じ展開になることは一度もありません。たった一手で勝勢が逆転することもあります」と将棋

の奥深さを話しました。



じっくり考えながら、対局しています

この会は20年以上続いており、以前は小学生や女性の会員もいましたが、現在は男性17人で活動しています。遠方から通っている会員もいます。「将棋は盤面全体を見て戦略を考える必要があるため、大局観が養われます。若い人にこそ、ぜひ参加してほしい。もちろん年配の人の参加も待っています」と話していました。

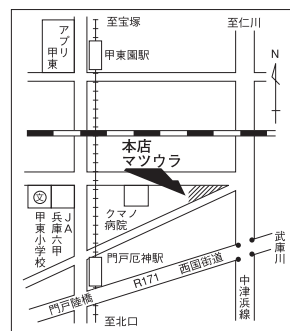
今はテレビゲームなどゲームも多種多様になりましたが、将棋は昔から現在に至るまで多くの人々に親しまれています。この会では老若男女問わず、初心者でも気軽に将棋を始めることができます。ぜひ一度、駒に触れてみませんか。

～ 地域密着型 自転車専門店 ～

安心できる自転車をお届けできる安全整備士の店



☎663-8003 本店 西宮市上中市2丁目2番17号 ☎52-2036 定休日: 毎週 木曜日 第1・第3水曜日



赤ちゃんもいっしょ

ヘルマンハーブの音楽会

ヘルマンハーブの演奏グループ「アウローラ」による「赤ちゃんもいっしょヘルマンハーブの音楽会」が2月28日、段上児童館で開催されました。事前に申し込みをした抽選による参加者は、0〜2歳の16組の親子でした。



ヘルマンハーブ

ヘルマンハーブは、ドイツ・バイエルン州の農場主・ヘルマン・フェー氏によって昭和62（1987）年にダウン症の息子のために開発された、ドイツ製ハンドメイドの弦楽器です。日本に普及して20年。ヘルマンハーブは、音符が読めなくても専用楽譜の印の上を弾くことで、誰でも演奏できるのがアフリカの楽器といわれています。また、室内で演奏する楽器のため小さな音ですが、繊細で優しい音色に癒やされます。

すぼと

自分磨き&絆を深める旅

大学卒業旅行記

樋ノ口町 O・Y

私は3月に大学を卒業しました。恵まれた環境や出会いのおかげで、コロナ禍でも、とても充実した4年間を過ごすことができました。



▲セントメアリー大聖堂 & クリスマスツリー in シドニー

脱出して季節が真逆のオーストラリアへ。滞在期間は2週間でしたが、世界遺産を見ることはもちろん、夏のクリスマスを肌で感じることもできました。大学生活で培った英語力も試すことができました。冒険心と行動力を磨く旅となりました。



▲沖縄のニライビーチ 青い空と透明度抜群の海

友人たちとの国内旅行は、全員が楽しめる場所をと考え、沖縄、北海道、静岡の3カ所を選択。グルメに観光に語らいたい時間にと、常ににぎやかで笑いの絶えない時間を各地で過ごすことができました。

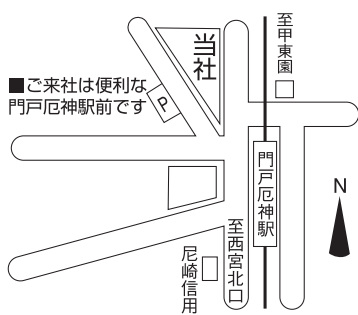


▲浜松で食べたうなぎは絶品でした

その大学生活の集大成として、卒業旅行を決行しました。社会人になると学生時代のような時間の使い方はできないだろうと考え、初の海外一人旅に挑戦。また、学生時代の友人たちとの思い出づくりとして、国内を複数力所巡る旅にも出かけました。海外一人旅は、冬の日本を

自分の力を試す旅、学生時代の苦楽をともにした友人たちとの旅は、新しいステージへ進む励みとなりました。新たな目標をもって、4月から社会人としての一步を踏み出した人と思っています。

不動産のことは当社へ何なりとご相談下さい!!



地元で親しまれ 信頼されて60年

http://www.koba-f.co.jp

小林不動産(株)

兵免⑬第6655号

西宮市門戸東町4番55号(阪急門戸厄神駅前)

☎(0798)52-1025(代)

告知板

甲東公民館

☎ 51・3748

☆坐禅のすすめ

～坐禅で身と心を

ととのえる日々を～

日時 6月10日(月) 13時30分～15時

講師 曹洞宗観靈山 西明寺住職

岩崎 建也氏

場所 講堂

定員 当日先着40人



☆料理教室 夏野菜たっぷり

～いつもと違う食べ方にトライ!～

日時 7月12日(金)11時～13時

講師 フード・ライフコーディネーター

川上 マユミ氏

場所 実習室

定員 20人

材料費 2000円(当日徴収)

申込み 往復はがき

6月21日(金)消印有効

当落は7月1日(月)発送

※詳細はチラシ参照

※諸事情により予告なく中止、変更する場合があります



☆子ども科学工作教室

～紙飛行機作り～

日時 7月30日(火) 13時30分～15時

講師 V a b b o K i d s

場所 工芸室

対象 小学4～6年生

定員 30人

材料費 250円(当日徴収)

申込み 往復はがき

6月28日(金)消印有効

当落は7月8日(月)発送

※詳細はチラシ参照

段上公民館

☎ 53・0931

☆みんなで歌おう

日時 6月20日(木) 13時30分～15時

講師 テノール歌手

畑 儀文氏

場所 講堂

定員 50人(申し込み不要)



☆お手軽料理教室

～簡単なおかずや

おつまみを作りましょう～

日時 7月7日(日) 14時30分～16時

講師 地域学習推進員会

推進員 小倉 信平氏

材料費 500円(当日集金)

※申し込み、その他、詳細は

ポスター、チラシで確認し

てください

高木公民館

☎ 65・1569

☆市政100周年記念

プレイベント

「サクソフォンカルテット

特別演奏会」

日時 5月26日(日) 13時30分～14時30分

演奏者 ミ・ベモル

場所 サクソフォンカルテット

定員 3階講堂

参加費 無料

申込み 当日受け付け(先着順)

段上児童館

☎ 53・8303

☆はじめまして

赤ちゃんといっしょ

日時 5月16日(木) 10時30分～11時30分

対象 令和5年11月1日以降

生まれの子どもとその母親

(初参加優先)

1歳以上のきょうだいは参加不可

オンライン

申込み オンライン

☆よちよち広場

～親子ふれあい体操～

日時 5月21日(火) 10時30分～11時30分

対象 0～2歳

申込み オンライン

☆父の日のプレゼント作り

日時 6月12日(水)15時45分～6月14日(金)15時45分

6月15日(土) 14時～15時30分

対象 小学生

申込み 要申し込み



広告募集

いつも『宮っ子』を愛読いただきありがとうございます。7・8月号(次号)からの広告を募集します

- ・ 1段分 たて4.5cm×よこ18cm 1回分 15,000円
- ・ ½段分 たて4.5cm×よこ9cm 1回分 8,000円

申し込み 甲東コミュニティ委員会
山崎 川東
☎ 53-4591
☎ 65-4265

編集員として 1年を終えて...

◎普段ではしないような取材をしたり、記事を書くという経験ができて良かったです。

◎記事作りでピンチのときは、編集員の協力で乗り越え完成した『宮っ子』にいつも達成感を感じました。

◎同じ地域で暮らす知り合いが増え、一緒に活動する中で交流が深まりました。

◎『宮っ子』に携わる前には知らなかった歴史や地域のことを深く知ることができてとても勉強になりました。

Y・M

M・C

Y・A

K・A